

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン

小学校6年生から
高校1年生相当の
女子

令和4年(2022年)4月より ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン定期接種の 積極的勧奨が再開となりました。

1. HPVワクチンはどのような効果がありますか？

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を予防します。子宮頸がんの原因の50～70%を占める2つのタイプに感染するのを防ぎます。

2. なぜ、令和4年4月から接種が再開されたのですか？

平成15年(2013年)6月から副反応のためHPVワクチンの接種勧奨の差し控えが続いていました。HPVワクチンの効果と安全性に関する多くの知見が得られたため再開されました。

3. HPVワクチン接種後に副反応はありますか？

主な副反応として、発熱や接種した部位の痛みや腫れ、注射による痛み、恐怖、興奮などをきっかけとした失神などがあります。

4. 定期接種の対象者は？

小学校6年生から高校1年生相当の女子が対象です。

5. 定期接種の対象年齢の間に接種を逃した場合、接種できますか？

キャッチアップ接種(従来の定期接種期間の対象年齢を超えて接種を行う)ができます。

対象者は、平成9年度4月2日～平成18年4月1日
生まれの女性です。

小学校6年生～高校1年生相当の女子

